

## 現状・方向性

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業は大打撃を受けたが、「わかやまリフレッシュプラン」をはじめ「蘇りの地、わかやま」キャンペーン等の観光需要喚起策を展開するなど、観光産業の維持・再生を図ってきた。
- ◆今後は観光産業にとって追い風となるビッグイベントが目白押しであることから、この期間を「ダイヤモンドイヤー」として位置づけ、コロナ禍からの反転攻勢を目指すとともに、「多様な旅のスタイル」の普及・定着に向けた取組やインバウンドの段階的回復に向けたプロモーションを強化し、誘客を図る。

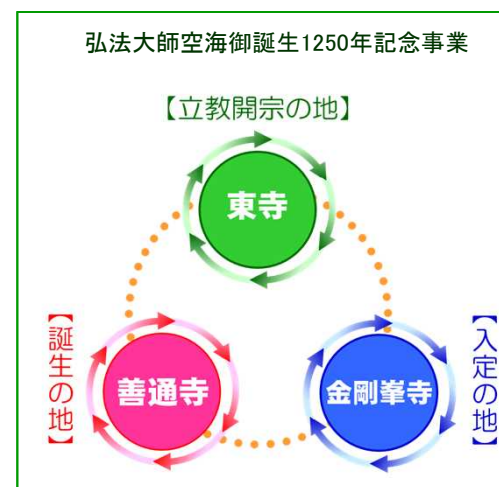
弘法大使御誕生1250年  
(R5)

世界遺産登録20周年  
(R6)

大阪・関西万博  
(R7)

## 「ダイヤモンドイヤー」に向けた取組

- ◆「弘法大師御誕生1250年記念事業」による誘客促進
  - ・善通寺、東寺、金剛峯寺の3霊跡の周遊促進
  - ・交通機関とのタイアップキャンペーン
- ◆「世界遺産登録20周年」に向けた取組
  - ・機運の醸成、広域観光周遊ルート of 構築や交通アクセスの利便性向上
  - ・参詣道環境保全トレッキングの実施
  - ・次世代への教育・継承プログラムの実施
- ◆「大阪・関西万博」に向けた受入体制の整備や周遊促進に係る取組
  - ・DX推進によるストレスフリーな観光地づくり
  - ・さらなるインバウンド受入環境整備の推進など



## 三県が連携して世界遺産登録20周年事業について検討、実施

(事業イメージ)

### ◆ 20周年記念シンポジウム等の開催

- ・大都市圏における有識者等によるシンポジウム等を開催



### ◆ 三県周遊スタンプラリー等の開催

- ・三県のスポットを巡るスタンプラリーを実施。達成者に各県の宿泊券や名産品をプレゼント。

### ◆ 情報発信コンテンツの充実

- ・フォトコンテストを開催し、新たな魅力を発信するとともに、20周年を発信するコンテンツの充実を図る。



### ◆ ウォークイベントの開催

- ・各参詣道でウォークイベントを開催

### ◆ 世界遺産登録社寺等による特別企画の実施

- ・特別展の開催、特別御朱印の付与、秘宝・秘仏の御開帳

